



ソ連情報を即座に

北大にデータベース登場

ソ連研究の効率アップを目 (木村汎センター長) が今年 的にしたデータベースが北大 度、ソ連の年鑑などを基に作 にお目見えし、注目を集めて いる。

同大スラブ研究センター

の農業生産高や国民所得な

ど、毎年のソ連経済の基本デ

ータ約千七百項目が同大大型

計算機センターのコンピュー

ンター員

第 87 3 19 号

北の文化

から手軽に引き出して利用で 今後公開されるとみられる データを入れておけば、すぐ 取り出せる情報はますます増 えるという。

これまで、ソ連の経済デー タは、社会主義国ならではの 特有の定義をしているため、 複雑な処理が必要。また、非 公開となっている部分や、年 ごとに整合性のないデータも あって研究者泣かせだった。

それが、コンピューターで データを処理することによ り、簡単に分析したりグラフ を書いたり出来るうえ、ゴル 伸一郎助教授は「これがソ連 研究者の人的ネットワーク構

成されていく。北大に輸入されており、接続 されたコンピューター端末機

築にもつながれば」と話して いる。